

福岡県気候変動適応センターの令和3年度取組計画について

気候変動や適応策に関する情報を、市町村・県民・事業者にわかりやすく発信し、適応に関する取組みを支援する。今年度の主な取組みは以下4点。

1 関係機関との連携強化

緩和と適応の両面から地球温暖化対策を実施するため、福岡県地球温暖化防止活動推進センターと連携して、啓発、情報提供及び市町村支援を推進する。

- ・ 福岡県温暖化防止活動推進センターと連携して活動を行い、活動情報を両者のホームページへ掲載し紹介する。
- ・ 福岡県地球温暖化防止活動推進員への研修教育に気候変動適応分野を加え、活動手引書に気候変動適応センターの情報を追加する。
- ・ 地域環境イベントや企業環境イベント等へ共同出展を行う。
- ・ 講演会への講師派遣に気候変動適応分野を加える。

2 センターの情報発信機能の強化

(1) 地理情報システムで提供する情報の充実

九州・山口県の気候変動監視レポート(福岡管区气象台)の情報や気象庁生物季節観測データ(国の気候変動適応センターで加工し地域適応センターへ提供)等の情報を入手し、提供情報の充実を図る。また、データの提供のみではなく解説を加える等、内容が伝わりやすいよう改善する。

(2) 情報検索システムで提供する情報の充実

気候変動情報、気候変動による影響及び適応策情報について、グラフ、写真やイラスト等を追加することで内容が伝わりやすいよう工夫する。また、専門用語の解説や平易な言葉での説明を追加しわかりやすくする。

3 協議会等

- ・ 福岡県気候変動適応推進協議会を2回開催(今回及び3月頃)予定。
- ・ 環境省九州地方環境事務所が主催する気候変動適応九州・沖縄広域協議会及び分科会(災害対策分科会、暑熱対策分科会)への参加。
- ・ 国の気候変動適応センターが開催する地域気候変動適応センター定例会議(2か月に1回)への参加。

4 その他

保健環境研究所における研究課題として、「気候変動による暑熱・健康等への影響に関する研究」を今年度から開始し、国の気候変動適応センター及び他府県の地域気候変動適応センターと共同で、気象学的観測(WBGT)の実施及び熱中症関連データの収集・解析等を行う。